

港区議会議員 自由民主党

うかい雅彦通信

区政報告

発行:うかい雅彦事務所

〒108-0074

東京都港区高輪1-26-18-402

Tel&Fax:03-3442-7232

E-mail:masahiko33@nifty.com

http://www.minato-jimin.com

ごあいさつ

早いもので本年も半年が過ぎましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。お陰様をもちまして、私も議席を頂戴致しまして3年が過ぎました。この間、世界、そして日本、その中の港区の状況も大きく変わろうとしております。昨年の政権交代という大きな流れの中で、一地方議員である私がどのように活動していけば良いのかは、自分の中で大きな不安としてございました。しかしながら、今の自分に課せられた、そして出来ることは、今までと同じように草の根運動と申しませうか、皆様お一人お一人のお顔、声をしっかりとかがい、区政に届けることに変わりはないと確信するに至りました。この政治姿勢は、私が政治活動を続けさせて頂く限り、これからも変わることなく続けさせて頂くことと思っております。残りの任期は一年を切りましたが、引き続き精一杯皆様のお役に立てるよう頑張っております。どうぞ、これからも宜しくお願い申し上げます。



港区議会議員 自民党議員団

副幹事長 うかい雅彦

PROFILE

- 昭和33年7月12日、港区高輪生まれ。港区立高輪台小学校、同高松中、私立成城高校、専修大学経済学部卒業（体育会ゴルフ部所属）、株式会社明治屋入社。家業を継ぐ為退社、二本榎通りで大榎屋酒店を家族で経営（平成17年まで）。港区立高松中学同窓会副会長。
- 家族：妻
- 趣味：ゴルフ、音楽鑑賞

平成22年度予算特別委員会統括質問

自民党 総括質問事項

- 財政運営について
 - ・ 税収アップの取組みについて
区の税収をアップすることは、区内事業者、区民の収入がアップすることであるわけで、この不況下の中で一層の税収アップの対策を固めるべきではないか。
(区長答弁) 区の特徴を最大限に発揮し、中小企業の競争力向上や商店街の一層のにぎわい創出に向けて、積極的に支援してまいります。
- フードデザート（食の砂漠）について
 - ・ 京急ストア新橋店閉店による影響（フードデザート）について
新橋の京急ストア閉店は、近隣住民に大変な不便をかけている。区としての対応を伺う。
(区長答弁) JR新橋駅改修を契機として、地域の商店会等の呼びかけで、区やJR、東京メトロ等が参加する質の高い駅前都市区間の形成と地域の活性化を目指して発足したまちづくり懇親会の中で、近隣の住民の生活利便性の向上の観点から、生鮮品等の販売確保について検討してまいります。
- 地域ネットワークについて
 - ・ 幼児虐待の悲惨な事件を減らすために
区として、民生児童委員・青少年委員・町会・自治会・NPOなどの地域の連携を深め、子ども達を守る取組みの推進を図るべきではないか。また、地域の安全を守るために、子ども以外の住民も含め、薬物等の危険から守ることを考えるべきではないか。
(区長答弁) 今後も、子どもと子育て家庭への支援強化に努めるとともに、地域の大人と子どもが知り合い、子どもを地域が支えることができるネットワークづくりを積極的に推進してまいります。
- 小児医療について
 - ・ 区内小児医療の制度の確立について
小児医療救急は、東京都では小児初期医療救急として15か所、総合病院等の場所を借り、診療が行われている。港区としても医師会の協力を頂き、行われることが望まれるが、医師会で引き受けられない場合の措置として、休日に診察をしてくれる小児科医を輪番制でお願いするか、または輪番制の内科医に、応急的な処置をお願いできないか。また、小児科のかかりつけ医制度の確立も、安心して子育てするには早急に必要であるがどうか。
(区長答弁) 小児医療分科会で協議された意見を踏まえつつ、医師会と協議してまいります。小児科のかかりつけ医制度の確立も、早急に医師会と協議してまいります。
- 環境問題について
 - ・ 先駆的な取組みについては高く評価するが、義務付けや罰則も無いなかで取組みを進めることは、区民の環境への深い理解がなければ難しいがどうか。
(区長答弁) 環境に関する普及啓発活動を継続して実施するとともに、自主的な環境学習活動を支援し、区民や事業者の環境意識の高揚を図ってまいります。
- シルバー人材センターの支援について
 - ・ 行政からだけでなく、民間からも仕事の依頼を取っていかなければならないが、人材センターとして、民間から仕事を受け入れる体制が出来ていないのではないか。
(区長答弁) 就業開拓事業などをはじめ、民間部門における新たな就業開拓に対し、積極的に支援してまいります。
- 高層マンションの防災対策について
 - ・ その対策として
防火管理者のような制度を作り、開発業者、または自治会などから責任者を出し、防災計画などの策定をするなど、法的な縛りを考えなければ、なかなか現実として進まないように感じるがどうか。
(区長答弁) 開発事業者への法的な義務付けについては、同様の課題

- を抱える自治体と連携・協議して、粘り強く国等へ要望していく必要があると考えております。
8. チャレンジユニバーシティ大学について
修了生の活動の輪が広がるように、常駐して連絡が取り合えるスペースを確保すべきと思うがどうか。
(区長答弁) 交流の場の充実や修了後の支援について、明治学院大学と協議してまいります。

平成22年度予算特別委員会質問

【総務費】

1. 備蓄食料について
区有施設の備蓄倉庫の食料については、近隣に在住の区民のための備蓄とお考えの方が多く感じるが、区の考えはどうか。
(答) 避難所で生活する避難者用でありますので、きちんと誤解を解いてまいります。
2. 区民の防災への意識向上について
町会・自治会で備蓄食料を購入・管理することは、区民の防災意識の向上に繋がると思うがどうか。
(答) 今後もより一層区民の防災意識向上を図るため、災害に備える活動を一緒にやっていきたい。
3. 共同アンテナ使用地区の対策について
総務省の方針によると、地デジ放送開始により、共同アンテナ設置の事業者にはアンテナ設置義務がなくなるわけであるが、区としての対応はどうか。
(答) 共同アンテナ設置者と利用者との協議が円滑に進むよう、共同アンテナ設置業者による丁寧な説明を求めるとか、個別受信方法の説明を行うなど、対応をしていく。

【環境清掃費】

1. 港区地球温暖化対策推進計画を進めていく上で、義務付けや罰則もないなかで、理解・協力を得ることについて。
(答) 助成制度やエコポイントなど多様な取り組みを活用し、区民に周知していく。
2. 次世代太陽光発電などの新技術について、港区の強いリーダーシップが期待されるがどうか。
(答) 調査研究や情報収集を通して、最先端の課題に対する取り組みを進めていく。

【衛生費】

1. かかりつけ医制度をもっと区民に示し、病院と診療所のネットワークを区民に示すべきではないか。
(答) 広報みなとやホームページを通して区民に周知し、利用率向上に努める。
2. 年間30万頭のペットが処分されているが、こういった悲劇を繰り返さないための区の取り組みはどうか。
(答) 東京都動物愛護相談センターと連携を強化し取り組んでいく。
3. 港区として薬物乱用に対する強いメッセージとして、新規5路線が開通する「ちいばす」を利用したらどうか。
(答) 車内広告を活用した情報発信を検討していく。

【産業経済費】

1. 外国人の観光客が増えるなか、ちいばすを使うなど、区内産業の活性化にどのように繋げていくのか。
(答) 港区観光協会と協議しながら検討していく。
2. 区の税収を上げるため、今こそ地域産業の活性化を進めるべきではないか。
(答) 今後も、産業団体連合会や商店連合会、観光協会等の意見も聞きながら、さまざまな手法を駆使して産業振興を図る。
3. 京急ストア新橋店の閉店による生鮮食品の問題を捉え、区民の生活を守る＝商店街を守るという観点から、区の方針はどうか。
(答) まちづくり懇談会のなかで、生鮮品等の販売店の確保について検討していく。

【土木費】

1. 区の低炭素化計画が進む中で、区道のような生活に密着した道路は、自動車優先の道路拡張よりも電柱の地中化や建物の耐震化、歩道の拡張を優先的に進めるべきではないか。
(答) 計画的に整備を進めていく。
2. 国の財政も考えれば、国道や都道の過剰な計画は如何なのか。区道については1mから1.5mの歩道の拡張で十分であると感じる。(要望)

【教育費】

1. 男子プロゴルフの石川遼君の活躍は素晴らしいが、区内中学の部活動にゴルフはどうか。
(答) 中学校の部活動にゴルフ部があるのは魅力的である。学校と検討していく。
2. 高輪台小学校隣接地取得に関わらせて頂いての要望。



平成21年度予算委員会質問事項

1. 環境清掃費

- ・高輪台地一帯の自然環境の状況について調査すべきと思うが如何か。
- ・自然環境保護を目的とした基金の設立により、港区全域の自然の保護を行うべきではないか。
- ・港区の大切な自然を維持していく上で、調査なども含めた保護・保全を、再開発等を通しての基金を使って行っていくことで、自然と都市化が共存する「誰もが誇りに思えるまち・港区」の実現につながっていくのではないか。
- ・新橋烏森口の外国人労働者のごみの不法投棄について区の対処は

2. 民生費

- ・チャレンジコミュニティ大学修了生の活躍の場をもう少し用意すべきではないか。
- ・区内に民生委員の不在の区域はどの程度あるのか。
- ・チャレンジコミュニティ大学の修了生の皆さんに民生委員になっていただければ如何か。

3. 衛生費

- ・区内の周産期医療の救急対応について、安全・安心の連携はとられているか。
- ・休日もやっている保険適用の民間の高度な検査を行う施設があるが、こういった施設を開業医の先生方が使うことで、地域医療の発展・連携を図るべきと思うが如何か。

4. 産業経済費

- ・(仮称)港区産業創造戦略会議は、各課が連携して進めなければならないが、このような経済状況の中、スピーディーな対応が求められるが大丈夫か。
- ・商店街連合会と観光協会が深く手を組むことで新しい事業展開が生まれると思うが如何か。
- ・この「武井さんマーク」をシールにして、区長お勧めの品として商品に貼ったり、区長お勧めの店として、店頭はこのシールを貼ったりして、商店街振興に使ったら如何か。

5. 土木費

- ・木造建造物の耐震改修工事に対する助成が30万円増額したが、もっと増額しなければ進まないのではないか。
- ・高齢者がお住まいの住宅の耐震化のためには、二世帯住宅の助成も考えるべきではないか。
- ・都営浅草線の泉岳寺駅のエレベーター設置の状況は。

6. 教育費

- ・慶応大学塾長でいらっしゃった小泉信三先生の「スポーツにおける3つの宝」というお話があるのだが、クラブ活動等を含め、区はスポーツを通して得られる数々の宝物を未来を担う子どもたちが手に入れるチャンスをどのように作ってあげるお考えか。
- ・元ソフトバンクの王監督の言葉として、「これからは次代を担う子どもたちと一緒に野球の楽しさを広げていこうと思っています。友達、強い体、ルールを守れる人間、野球をやることで知らず知らず身についてしまうこれらの大切なことを、一人でも多くなるように努力していきます。」とあります。スポーツを通じて得られるものの重要性について、区としての考えは如何か。

平成21年第1回定例会一般質問

1. 港ブランドの創出について

港区というブランド力を生かし、有機栽培であったり、区が肥料から指定するなどした安全・安心な港ブランド野菜を、近隣の農家に栽培してもらい、区内の八百屋さんや商店街の皆さんに売っていただくことはできないか。

2. 地域の特色を生かした事業について

新しく5路線増えるちばすなどを使って、観光客なども誘致し、地域の特色を生かした施策が期待される。地域の活性化を目指す上で、今後も推進し、地域の魅力を最大限に発揮し、発信していくことが大切と考えますが如何か。

3. 中小企業融資の緊急保障制度利用事業者の状況について

区として認定事業者の融資の状況を把握すべきと思うが如何か。

4. 電子自治体の推進について

カード事業として、納税の他に商店街振興策に使えないのか

5. 二世帯住宅の助成について

品川区でも二世帯住宅の助成を行っているが、介護や子育ての問題解決にもつながることと思うが如何か。

6. 地上波デジタルについて

高いビル建設による共同アンテナ設置の区民の皆さんについて、どのような対応をされるのか。

7. 大麻問題について

子どもの頃から、大麻等に手を染めないための教育も必要であり、規範意識の低下を防ぐ手立てを考えなければならない。規範意識の低下の原因は何であるか。その対策はあるのか。

8. 高輪1丁目宮内庁宿舎跡地の整備と環境の保全について

宿舎跡地をどのような方針で公園にしていけるのか。貴重な自然が残る高松宮邸、高松中学を含む高輪台地全体の緑や斜面緑地、湧水を官民一体となって保護・保全すべきではないか。

9. 都市型水害対策について

区の都市型水害対策についての取り組みは如何か。

10. 西麻布保育園と福祉会館等の建て替えについて

保育園と福祉会館・児童館は、今までのお隣同士の関係を生かした仮施設へ移転が望まれるが如何か。

平成20年度決算特別委員会質問事項

1. 総務費

- ・高齢化による町会の役員の減少化が進む地域がある中で、例えば、高輪地区では白金志田町倶楽部、どんぐりの会、ヒマラヤスギの会等の活発な活動をしているボランティア団体に町会活動をフォローしてもらっても将来的には必要ではないか。こういった団体を区もしっかりと認識し、育てていくべきと思うが如何か。
- ・夏祭り等で、地域の子どもたちに夏の思い出を作ってもらい、地域を想う心を持った地域を担う大人に成長してもらおう。そのための予算を区として別途考えてみたらどうか。
- ・冬の職員ボーナスのカットは、景気悪化による国民感情への配慮であるが、であるならば、是非この削減分を景気回復につながる施策に使用していただきたい。
- ・三田4丁目、5丁目における区役所、消防、警察の管轄問題は、簡単に解決できるものではないが、支所だけでなく、この問題を支援部としてしっかり認識し、地域の方々の思いを受け止めていただきたい。(以上3問は要望)

2. 環境清掃費

- ・港区内の大切な自然の保護について基金での維持管理が可能なのか。また今後の維持管理は。
- ・ゴミのないきれいな街並みをつくっていくために、どのような取り組みをしていけるのか。
- ・港区の低炭素化計画を高く評価するが、これを港モデルという基準として考えていくべきと思うが如何か。

3. 民生費

- ・民生児童委員の方から、地域で気にもとめず選挙に深く関わっている方がいると言われたが、民生児童委員とは、社会的にどのような位置づけになっているのか。
- ・民生児童委員の仕事は、生活保護に始まり、弱者の方の生活に踏み込んだ話が多い。守秘義務があるわけだが、地域にかかわりを持った方の影響力は排除できないと思うが如何か。
- ・やはり、民生児童委員という仕事の重要性を考えれば、選挙には関わらなければならぬその委嘱を辞退されるべきであるし、民生児童委員として活躍されるのであるならば、選挙活動への参加は控えるべきだが如何か。

4. 衛生費

- ・路上弁当販売に困られている区内飲食店が多いが、店以外の場所で売る許可はどうなっているのか。
- ・広報みなどで都市施設管理課占用係が、道路での弁当の販売を禁止した記事が出ていたが、だとすれば土地所有者の許可を得て私有地で販売するしか許可できないはずだが如何か。
- ・道路上での販売は違反であるのなら、その取締りの状況は。

5. 産業経済費

- ・貸し渋りや貸しはがしが行われていることについての相談窓口は金融庁の大臣目安箱などがあるが、区としての対応は。
- ・商店街変身戦略プログラムについては、やはりハードルが高いのではないか。商店街の負担を減らすなり、これからの商店街対策について、どのような方向性、お考えをお持ちか。
- ・即効性のある事業は何か考えていないのか。

6. 土木費

- ・木造住宅の耐震化が進まないが、「大改造!! 劇的ビフォーアフター」のような技術を使えば、低予算で耐震化も進むのではないか。
- ・先ほど申し上げた番組のリフォームテクニックが進めば、狭い場所でも沢山の人が住める。こういった技術を生かし、二世帯住宅等の促進に役立つのではないか。
- ・区民向け住宅を、逆家族化を了承する家庭用に、空き部屋を対応できるようリフォームできないか。

7. 教育費

- ・公立小学校では年に一回、私の母校高松中学では年に四回、朝のあいさつ運動を行っているが、他の公立中学でも行っては如何か。
- ・もしできましたら、地域の町会の方々や商店会の方々、OBと一緒に参加したら如何か。

編集後記

一昨年の夏で飲食店を閉めさせて頂いたのですが、以前と変わらず政府発表のような景気回復は感じられません。やはり、国民にデフレというものが染みついてしまったのでしょうか、日常生活における習慣は簡単には変えられるものとは思えません。量販店において、大量生産された物が薄利多売で売られる図式が変わらぬ限り、需給ギャップは消えず、デフレの克服は困難と感じます。消費者にとって、商品が安いことは良いことであると考えながら思うのは、安さが悪いことではないが、そのことが日本の伝統文化や日本人が持つ意識・感性などの喪失に繋がっているのではないかと…やはり税金を上げる前にすべきことがあるのではないのでしょうか。まず、景気回復し、国民一人一人の所得をしっかりと上げなければなりません。それから、財政再建やデフレからの脱却が始まるように感じます。港区から景気回復を!

うかい雅彦の質問内容は港区議会ホームページでご覧になれます

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp>

代表質問及び決算特別委員会での質問の全文をご希望の方にお送り致します。FAX又はメールにてご連絡下さい。